

第3回 甲斐市市の木市の花選考委員会会議録

1 日 時 平成26年2月13日(木) 13時30分～15時30分

2 場 所 甲斐市役所竜王庁舎 本館4階 委員会室B

3 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 第2次選考経過報告
 - ①「市の木」の選考経過報告
 - ②「市の花」の選考経過報告
- (4) 選考理由
 - ①「市の木」の選考理由
 - ②「市の花」の選考理由
- (5) その他
- (6) 閉会

4 出欠席者

- (1) 出席委員(9人/10人)
- (2) 事務局 企画政策部長、秘書政策課長、総合政策係(3人)
- (3) 欠席委員 1人

5 議題

第2回選考委員会で選考された市の木・市の花の候補について、選考理由や特徴をまとめ、市民が投票するときの参考資料を作成する。

6 会議録

委員：くわについては山桑が候補だが、山桑は馴染みが無く、養蚕や桑の実が選考理由となっているため、単にクワとした方が良い。

事務局：くわの標記は、カタカナでクワとする。また、梅についてもカタカナでウメとする。

委員長：人気投票用紙に掲載する写真は次の条件に見合う写真とする。なお、印刷日程の都合から、写真の選定は事務局に任せる。木については、ケヤキは全体の樹形のわかる写真とする。それ以外の木については、実と葉を強調した写真とする。花については、サクラは満開のもの、カワラナデシコはバックを明るく、ポピーは5弁のもの、梅は白いものとする。

委員：投票用紙の漢字や文章が難しいので、小学生には理解できないのではないかと。
事務局：小中学校については、担任教師から直接配って説明するので、子供たちが投票用紙だけを見て投票するわけではない。

委員長：各委員の選考理由及び事務局案を基にコンパクトに表現したい。委員が選考理由に含めたい意見があればお聞きしたい。

木・花の選考理由にたいする主な意見

なお、最終的な選考理由については、第一次投票時の選考理由と今回会議での意見を基として事務局で作成した。

ケヤキ：生命力が強く、信玄堤の代表木である。

古くから人との関わりが深く、神木・防風林・街路樹として使われている。

シラカシ：年間を通じて緑豊かな木である。

ドングリが取れる木である。

エノキ：信玄堤が名所で、樹形や葉などケヤキと特徴が重なる部分が多い。

国蝶であるオオムラサキの幼虫が葉を食べる。

アカマツ：昇仙峡が名所だが、昇仙峡は甲府市のイメージが強いため理由に含めない。

長命で巨大木になり、古くから人との関わりが深い。

クワ：甲斐市はかつて養蚕業が盛んであり、関わりが深い。

桑の葉茶や桑の実が特産物となっている。

サクラ：花が見事であり、日本の花である。

ドラゴンパーク、矢木羽湖周辺が名所である。

カワラナデシコ：秋の七草の一つで、古くから人々に親しまれている。

可憐であり、大和撫子の言葉がある。

ポピー：虞美人草とも呼ばれる。

簡単に栽培でき、広めやすい。

双葉の広域農道沿いにビューポイントがある。

ツツジ：花も多様で色彩も豊かで、鉢植えなどで親しまれている。

ウメ：梅の里クロスカントリー大会が行われている。

敷島総合公園周辺が名所である。

梅ジャム、梅ワインなどの特産品がある。

その他

委員：市の木・市の花が決まったら、市でも積極的に植樹するなどして、名所をつくらせていただきたい。

委員長：市には市の木・市の花を広める努力をしていただきたい。選考委員もバックアップしたい。